

- (16) 滑り止め（炭マグ）は各自用の小袋に入れたものを、各競技会場で役員から受取り使用すること。不足する場合は各自で準備すること。
- (17) 競技者が走行・歩行不能（即ち歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態）となった場合は、本人が競技続行の意思をもっていても、審判長（または権限を委譲された審判員）から中止を命ぜられた場合は、直ちに競技を中止しなければならない。
- (18) メインスタンド1階への選手の入退場は、第1・4ゲート部の出入口を利用すること。（エントランスホールは、通行禁止）
- (19) 雨天走路の利用は、一方通行（東から西）とする。また、競技開始時刻後の出入りは北側出入口のみとする。
- (20) 競技場外のジョギング・ウォーキングコースは、スパイクの使用、ハードル・スタブロの設置、ダッシュ練習は禁止する。
- (21) アスリートビブスは、各都市で製作し、胸と背に付けること。尚、今回のビブスのサイズは、旧サイズでも良い。また、番号の書き方としては、「下表の郡・市番号 - 郡・市の出場者の通し番号」を記入する。

1-大島	2-玖珂	3-岩国	4-熊毛	5-柳井
6-光	7-下松	8-周南	10-防府	12-山口
14-宇部	15-山陽小野田	17-下関	20-長門	21-美祢
23-萩	24-阿武			

- (22) 競技会中に生じた事故等については、主催者で応急処置は行うが、その後については、本人の責任において処置すること。
- (23) スポーツ少年団の部については、その他以下のとおりとする。
- ①トラック競技でのスタートの合図は、イングリッシュコールとする。
 - ②同じ選手が2回不正スタートをした場合、その選手を失格とする。
 - ③走幅跳の試技は3回とする。
 - ④表彰：個人、リレーとも1～8位に賞状を渡す。また、個人全員に記録証を渡す。
- (24) **対コロナ感染症対策のための規定を順守すること。**
- ①関係者は、体調管理チェックシートを「TIC」に提出してリストバンドを受取り、常時装着すること。
 - ②競技終了後は直ちに、第1ゲート外の階段よりコンコースに上り、手洗い・うがいをすること。
 - ③各競技会場に置いてある消毒液を適時使用してもよい。
 - ④競技中（練習含む）以外は、競技場内においても必ずマスクを着用すること。
 - ⑤待機場所は、2階コンコースとし、3密は避けること。各チームの待機場所も2階コンコースとする。また、ウォームアップ室は待機場所としては使用できない。更衣室の使用も短時間とすること。
 - ⑥その他、別紙「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）関係情報」を順守すること。
 - ⑦新型コロナウイルス感染症拡大状況により大会を縮小または中止する場合があります。

※弁当などの容器を『空缶入れ』には絶対に入れないでください。

※競技場内にゴミを残さないよう、きれいな競技場にしてお帰りください。

※競技場エリア内は全面禁煙です。（スタンド、コンコース及び競技場周囲を含む）